

自民清風会

大幅な事業廃止・補助金削減となった
特集◆令和7年度予算に賛成した背景

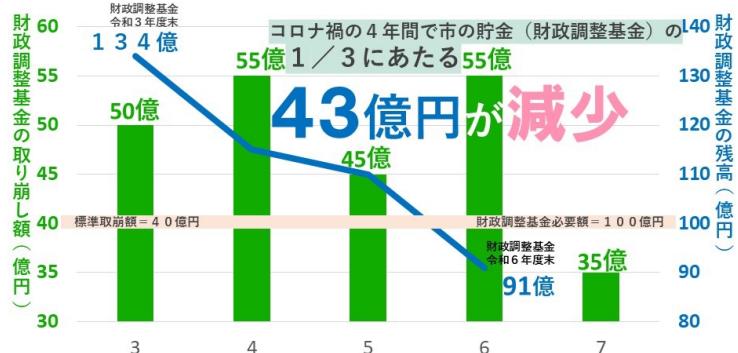
実質的な歳入減少時代の到来

収入	支出
市税全体で 30億円 の増収	民生費で 76億円 の支出増
民生費… 子育て、社会福祉、高齢者福祉などへの支出が増え、 日本も本格的な 福祉国家 になりました。	

今なら
間に合う

この先も民生費は増え続ける
将来にわたって行政を運営できる
持続可能な都市になろう

市の貯金 財政調整基金の危機



コロナ禍の4年間で、財政調整基金は3割減少し、
7年度予算では6年度（55億）より20億円少ない
35億円を財政調整基金から繰入れることとしました。
入るお金が減り、出るお金が大変に増えていく。
その上貯金額が減ってきてている。
このままでは財政が本当に危機的状況に陥ってしまう。
そんな大変厳しい財政状況での予算編成となりました。

依存財源を確保する～国県支出金

市民の皆さん納めた国税、県税を
岡崎市政にしっかり還元しました。

国庫支出金	57億円増	26.8%
県支出金	13億円増	13.5%
財政調整基金からの繰入れ		
貯金の取崩し	20億円減	36% ↓20億



コロナが収束し、世の中が動き出しています。
物価が上昇し、人件費は上がり、市民生活に直結する福祉的予算である民生費の上昇は今後ますます懸念されるところです。

こうした義務的経費の上昇を念頭に入れると、財政を健全化するためには、何よりも収入を増やす方策に注力いかなければなりません。

着手済みの4つの大型事業、阿知和地区工業団地造成事業、東部のアウトレットを核としたまちづくり事業、東岡崎駅第2期整備事業、南公園整備事業を、まず完成させること。

「もっと稼げる岡崎市」にすること。

大型事業だけでなく、あらゆる場面で税収が上げられる仕組みを作り上げ、停滞してしまった岡崎市を再び活性化する必要があるのです。

高福祉のためにはしっかりと経済を回さなければならない。

福祉を充実するために、我々は数字から目を背けてはならない。

7年度予算は、岡崎市の未来を決める大きな分岐点となる。自民清風会はそんな信念で議決をさせていただきました。

杉浦ひさなお通信



岡崎市議会議員

杉浦ひさなお

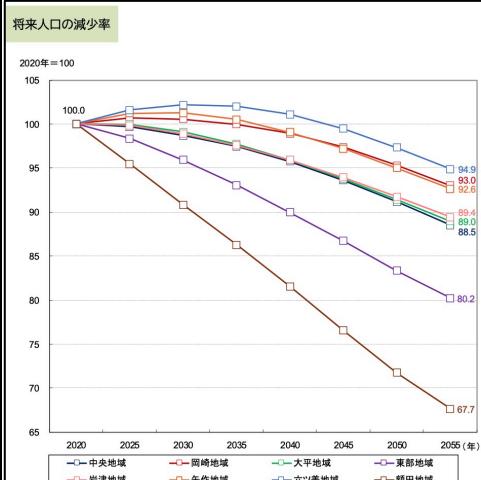


令和7年度の予算編成は大変厳しいものになりました。これはここ数年の歳出の増加により財政調整基金残高が大きく減少したため、昨年の夏には7年度の予算編成方針として公に示されており、秋の市長交代が要因ではありません。今回、様々な補助の削減や制度の廃止などが行われましたが、こうした状況に至ったことに議員として責任を痛感しております。

一方、あたかも市長交代によってこうなったかのような風説は、実情を知らないのか、曲解しているのかわかりませんが、私も説明を尽くさせていただきますので、皆さんにはご理解いただきますようお願いいたします。

南部学校給食センターについて

令和7年度の予算編成では、多くの補助金や制度の縮小などが行われましたが、中でも老朽化した岡崎市南部学校給食センターの移転整備事業が予算付けされず、残念ながら中断となりました。昨年度の時点では令和9年度2学期の開業が予定されていたものです。アレルギー対応食提供ができない状況が永続化されるなど、岡崎市南部の小中学校に通う児童、生徒の食の安全に関わる新センターの整備が滞ることは、本来あってはならないことだと考えております。厳しい予算状況とともに、将来人口推計の見直しも要因と説明されていますが、岡崎市南部地域は、見直された人口推計でも将来の減少幅が最も少ないような地域であり、また、国の学校給食無償化の議論や、愛知県の公立高校への給食の試験導入などの方向性も踏まえ、あらためて整備事業が進捗するよう、しっかりと提言して行きたいと考えております。



業務の概要

南部学校給食センターは建設から40年以上が経過し、老朽化が進んでいることから、中之郷町に新たな学校給食センターを整備することで、児童生徒に安全安心な学校給食を提供します。

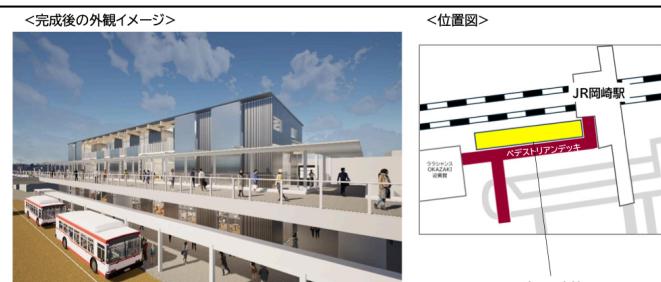


【令和6年度の主な業務内容】
 ・整備事業者選定及び契約締結
 ・道路詳細設計
 ・既設水道管撤去

【整備スケジュール】
 令和6年度
 整備事業者選定・契約締結
 道路詳細設計
 道路用地取得
 令和7年度
 給食センター設計・建設工事
 道路整備工事
 令和8年度
 給食センター建設工事(継続)
 道路整備工事(継続)
 令和9年度
 給食センター竣工
 供用開始予定(2学期)

JR岡崎駅、市南部地域について

岡崎駅西口では昨年7月に「駅西小町」がグランドオープンしましたが、ロータリーでのバス、タクシー乗降時に雨よけとなるシェルター設置工事が本年度から行われていきます。また東口では、来年春の開業を目指し、ペデストリアンデッキにつながる複合施設が整備されます。テナントとして、飲食、物販、医療等が予定されるところで、さらなる賑わいが期待されます。



*概要やイメージは、現時点での計画のため、今後変更となる場合があります。

名古屋ステーション開発（株）報道発表から

六ツ美南部の商業開発もお待たせしましたが、進みつつありますので、よろしくお願いいたします。

ご意見、ご質問募集市政に関する事、身近な問題等お気軽にご連絡ください。

杉浦ひさなお後援会新事務所岡崎市中島中町4丁目3-22

FAX74-1396 携帯 090-1145-2817 URL <http://cas07770.wixsite.com/home> →

後援会公式 LINE

